

活動記録書

開催日： 令和3年8月5日(木) 天候 晴	開催テーマ： 「五木寛之・百寺巡礼」DVD鑑賞
開催場所： 金沢公会堂 多目的室	記入者： 熊谷 滋子
参加人数： 会 員 男 18 名 女 5 名 計 23 名 準 会 員 男 6 名 計 6 名 合 計 29 名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： DVD鑑賞「五木寛之・百寺巡礼」 【 霊山寺 】 徳島県鳴門市 高野山真言宗 創建：伝 天平年間（729～749年） 四国八十八箇所の一巡礼所。聖武天皇の勅願により行基によって開創された。その後弘仁6年(815年)弘法大師はこの地を訪れ、21日間修法し霊山寺の名を付け、持仏の釈迦如来を納め霊場開創祈願をしたという。本尊の釈迦如来は左手に玉を持った坐像で弘法大師作とされている。室町時代には七堂伽藍の並ぶ大寺院として栄えたが、殆どが焼失した。応永年間(1394～1428)に建立された下層が方形、上層が円形の造りで五智如来が祀られている多宝塔が残る。四国遍路は霊山寺から始まり全て回ると1,450キロになる。遍路の姿の型式で大切なのは弘法大師の分身とされる金剛杖で、この杖をついて歩くことで「同行二人」だという。白装束の背中にある「南無大師遍照金剛」の「遍照金剛」は空海の別名である。日本には巡礼コースが千以上あるが、巡礼と呼ばず遍路と言うのは四国八十八箇所だけである。 【 善通寺 】 香川県善通寺市 真言宗善通寺派 創建：伝 大同2年（807年） 四国八十八箇所の一巡礼所。和歌山県の高野山金剛峯寺、京都府の東寺と共に弘法大師三大霊場に数えられる。弘法大師は讃岐国（現在の善通寺）の出身である。善通寺は唐から帰国した空海が、父佐伯直田公から寄進された寺地に建てたとされている。現在の金堂は元禄13年（1700年）に高松丸亀藩主の庇護を受けて再建されたものである。金堂の内陣にある本尊の薬師如来坐像は高さが3メートルもあり江戸時代の仏師運長作だという。この仏像の胎内には空海自ら彫ったというもう一つの仏像が納められているが、元はこれが本尊だった。境内からは白鳳から奈良時代に遡る古瓦が出土し、佐伯一族の氏寺として創建されたのではないかと推定されている。誕生の地に伝わり空海の自筆とされる「瞬目大師像」への崇敬がある。明治35年（1902年）に完成した45メートルの五重塔は軸の部分が太く五層の屋根の部分が短く「逞しい五重塔」の感がある。 【 梅林寺 】 福岡県久留米市 臨済宗妙心寺派 創建：元和7年（1621年） 本尊は如意輪観音。寺の起源は丹波国福知山に立地、瑞巖寺と称していたが久留米藩に転封された有馬豊氏が元和7年(1621年)に今の場所に遷座して大龍寺と称したのが創始といわれる。後、父有馬則頼の戒名にちなんで梅林寺と改称し、久留米藩歴代の菩提所となった。寺室の中には尾形光琳の富士山の図、長谷川等伯の屏風等 600余点ある。一般参詣者の立ち入りが禁じられ、修行の厳しい禅寺として知られ優れた禅僧を育てる九州屈指の禅道場となり、臨済宗各本山の管長を勤める老師を多数輩出した。隣接の外苑は昭和33年（1958年）開山の菟門玄級禅師の350年遠諱を記念し市民有志の梅やツツジの献木により作られた公園である。	
参加者の状況・意見など： 猛暑、緊急事態宣言下での開催であったが、スムーズに運営できた。	
次回の予定： 9月2日（木）10時 京急富岡駅集合 テーマ「旧海岸線の道」	
その他： 20周年記念として講演会・懇親会・足跡のDVD作成という方向で検討中。 緊急事態宣言が8月末までとなり、9月の探訪が行えるかどうかガイド協会と調整して決定。予定に変更があればメール電話等で連絡。HPにも掲載するので注意願う。	